

◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

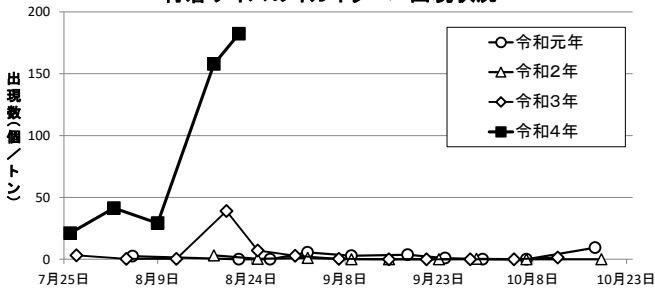
8月22日にサロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行った結果、イガイ(シュウリガイ)ラーバは平均で1,543個/トン出現しており、240~250 $\mu$ mの大型個体が最も多く見られました。付着サイズのラーバは182個/トン出現しており、先週よりもやや増加していました。

ホヤ類(エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ)のラーバは63個/トン出現しており、先週よりもやや増加していました。

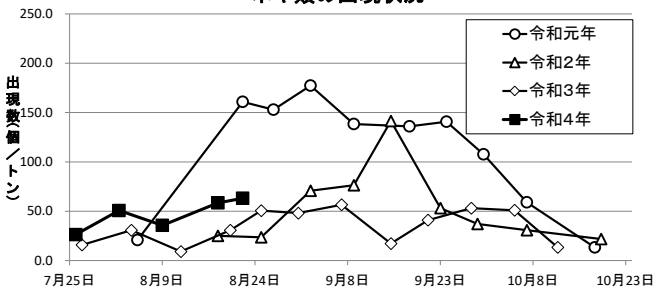
イガイラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	21.7	22.0	58.4	22.6	31.2
150 ~ 160	65.1	44.0	0.0	22.6	32.9
160 ~ 170	43.4	22.0	116.8	22.6	51.2
170 ~ 180	195.2	44.0	116.8	181.1	134.3
180 ~ 190	65.1	131.9	146.0	90.5	108.4
190 ~ 200	65.1	22.0	116.8	203.7	101.9
200 ~ 210	65.1	44.0	262.9	45.3	104.3
210 ~ 220	86.7	22.0	87.6	113.2	77.4
220 ~ 230	130.1	65.9	146.0	249.0	147.8
230 ~ 240	303.6	44.0	146.0	113.2	151.7
240 ~ 250	759.0	22.0	29.2	113.2	230.8
250 ~ 260	498.8	65.9	146.0	45.3	189.0
260 ~ 270	173.5	22.0	58.4	22.6	69.1
270 ~ 280	86.7	109.9	58.4	22.6	69.4
280 ~ 290	43.4	22.0	29.2	0.0	23.6
290 ~ 300	0.0	22.0	58.4	0.0	20.1
合計	2,602.2	725.2	1,577.2	1,267.6	1,543.0
200 $\mu$ m以上	2,146.8	439.5	1,022.2	724.3	1,083.2
	82.5%	60.6%	64.8%	57.1%	70.2%
260 $\mu$ m以上	303.6	175.8	204.4	45.3	182.3
	11.7%	24.2%	13.0%	3.6%	11.8%
ホヤ類	4.5	53.6	78.5	116.1	63.2

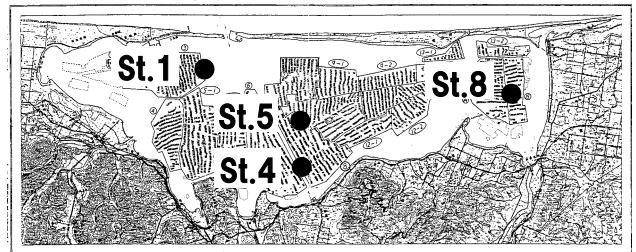
付着サイズのイガイラーバ出現状況



ホヤ類の出現状況



付着物ラーバ関連調査地点図



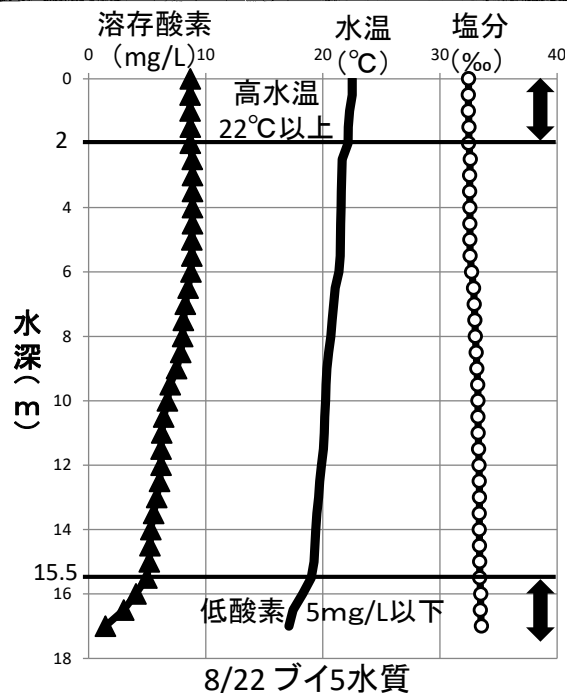
◎サロマ湖水質状況

8月22日に湖内中央部ブイ5の水温( $^{\circ}$ C)、溶存酸素(mg/L)、塩分(‰)を測定しました。

その結果、水温は表面から水深2mまでで22 $^{\circ}$ Cを上回っていました。

溶存酸素は底から水深15.5mまでで5mg/Lを下回っていました。

塩分は全層で32‰以上ありました。



8/22 ブイ5水質